

2025年3月28日

原料費調整制度に基づく2025年5月検針分のガス料金について  
(群馬地区)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社(社長： 笹山 晋一、以下「東京ガス」)は、「原料費調整制度」に基づき、2025年5月検針分の単位料金を調整した結果、2025年4月検針分と比べ、1m<sup>3</sup> (45MJ) につき4.65円（消費税込）上方に調整いたします。

これにより、1ヵ月に36m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で2025年4月検針分と比較して、167円（消費税込）ガス料金が上がります。

2025年5月検針分に適用するガス料金については、東京ガスのホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量	料金表A 0～24m <sup>3</sup>	料金表B 25～500m <sup>3</sup>	料金表C 501m <sup>3</sup> ～
基本料金 (円/月)	759.00	1,296.10	7,612.30
調整単位料金 (円/m <sup>3</sup> )	179.74	158.19	145.57
(参考) 4月 調整単位料金	175.09	153.54	140.92

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 36m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )	2025年 4月 <sup>*1</sup>	2025年 5月	増減
適用料金(円/月)	6,823	6,990	167

・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2018年度～2022年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。

\*1 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、5円/m<sup>3</sup>値引きされています。

### 3. 原料価格の変動

	2024年11月～2025年1月 の平均 (4月検針分)	2024年12月～2025年2月 の平均 (5月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	93,220	92,800	▲ 420
LNG	97,030	96,530	▲ 500
LPG	96,240	97,080	840
基準平均原料価格(b)	54,870		
差額(a-b)	38,300	37,900	▲ 400

- ・LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨てで。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= \boxed{96,530} \times 0.9206 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= \boxed{97,080} \times 0.0405 \\ &= \boxed{92,797.25} \\ &\downarrow (10円未満四捨五入) \\ &= \boxed{92,800} \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 92,800 \text{ 円/t} - 54,870 \text{ 円/t} &= \boxed{37,930} \text{ 円/t} \\ &\downarrow (100円未満切捨て) \\ &= \boxed{37,900} \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \boxed{37,900} \text{ 円} / 100\text{円} \times 0.0858^{*2} \\ &= \boxed{32.51} \text{ 円}^{*3} \end{aligned}$$

\*2 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

\*3 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

### 5. 標準家庭料金の算定方法

群馬地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金}(1,296.10\text{円}) \\ &+ \text{調整単位料金}(\boxed{125.68}\text{円}) + \boxed{32.51} \text{ 円} \times 36\text{m}^3 \\ &\quad \uparrow \text{基準単位料金(税込)} \\ &= \boxed{6,990} \text{ 円} \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)} \\ &\quad \cdot \text{本体料金は小数点以下切捨て} \end{aligned}$$

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価）を調整する制度です。
- ・「基準平均原料価格（54,870円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が149,570円（調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は149,570円としてガス料金の調整を行います。